

人類動態学会 第19期第2回理事会（公開版）

日時：2006年9月30日（土）14:00～16:00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室

出席者：植竹照雄、片岡洵子会長、肝付邦憲、小木和孝、酒井一博副会長、中田英雄、平野和彦、堀野定雄、真家と夫、松田文子事務局長、松村秋芳、水野有希

1. 活動スケジュールについて

会員の動向

- ・2006年9月29日現在、会員は217名。前回理事会より1名増

活動スケジュールの確認

- ・任期中（2008年の総会まで）の活動予定をスケジュール化することで、活動カレンダーを作成し、理事相互の情報共有を図る。将来的には、会員への公開をめざす。

2. 活動報告と審議

JHEの編集委員会

新体制になってから、以下のような、投稿のための依頼を実施。

会報に、JHEの投稿の呼びかけ文を掲載する。

各年度の学会の優秀発表者に、投稿を依頼した。

最近の学会発表のうち、5名の発表者に投稿を依頼した。

大会等では大学院生の発表が多いことから、大学の研究室に投稿を依頼中。

学会発表のProceedings（第38回～第41回大会までの抄録）を掲載する。

以上から、今回のJHEには、掲載可の論文3編、過去3回分の大会の抄録を掲載予定。

会報

- ・会報担当は森氏から大箸氏へ移行。大箸氏は85号から担当となる。
- ・84号は2006年10月10日に発送の予定。84号は年3回分の1号目となる。

国際交流

<IEA>

- ・7月8～9日オランダで開催されたIEA理事会に堀野氏が参加した。

<Ergo Future>

- ・Ergo FutureはManuaba氏の呼びかけによってインドネシアで開催された。
- ・国際的にはJHEが注目されているので、門戸を開放すれば、投稿が増えることが期待できる。

研究推進

- ・情報の提供として、研究助成の一覧をHPなどに載せることを検討。大学に定期的に確認し、関連情報を事務局に流して、公表するようなイメージを考えている。

共生シンポジウム

- ・「くらしの中の共生」をテーマとした第3回シンポジウムを12月2日（土）、東日本地方会の前日を行う。シンポジウムでは、高齢化社会のQOLを取り上げる。開催場所は、日本女子体育大学。

「動態研究の方法」刊行

- ・ワーキンググループ全員がそろって基本計画を決定する方向で、現在、日程を調整中。

東日本地方会

- ・2006年12月3日に予定。日本女子体育大学。

第42回大会

- ・2007年度夏季研究会と42回大会を連続して行なう方向で検討中。大会長は久宗周二氏(八戸大学)。

事務局

- ・サーバーは「humanergology.com」を取得した。

事務局用の公式アドレスと、入退会用のアドレスを取得。振込の郵便局を移行した。

3. 交通費の支給について

- ・理事会への出席など、学会の用事で移動する場合の交通費の扱いについて、以下のような結論を得た。
- ・交通費は事前申請制として、その都度、検討する。
- ・交通費を支給する場合、新幹線の利用を原則とし、半額とする。
- ・交通費の支給は予備費で対応する。

以上の措置は、2006年度限りとし、2007年度は、本年度の実績をみながら改めて検討する。